



うらそいか年栄 うかてき生生 とま南で勉展冊始れが越
 こ名し、れ大ー靈でと何なへの鳥し先か強の香まてわ智靈
 とをても、きと人すのと杉医頃のにた生らの審川り教か寛人
 とと付風のうあない生。思かの師寺絵よ。かは始査県でえる順
 とさけるの中一度り風とをてののに描て野絵知からたく遍で
 された、に生恐遭ら雅かので宅つれえ大描のす一りそたさ。本
 ひとまれ怖遇ら号たきががあ住き勉時方代高間寄しのがが智
 の変わつ命すい松こ物鳴そまっ強代法県知習神、筆様をは家
 。レわつがざま南に表たにれけさは順の内たか野絵も一の
 ツったが終まし先よ現。行てはれ拝序審ののら派をつ五金剛
 ル体魂わじた生るしそつい小ま観を査学が兵の描て歳剛、の寺
 と験のついがかもたのたた学し(勉員校本庫雑く、の家頃ご
 したの中た風、らこのら鳥と村校た見強島に格県誌こ、家頃ご
 て中にとに一一だいをき山五。るさ内進的のをとを絵住
 使か、思ふ昨松そい見大先年 これ松んな県一の訪心職

今月のさめうらギヤラリーは、
 霊人生風様の作品です。

きも い夫境くらす原なベ動番 題おむ件間成にかで しげ全故
 たふまとし面発ーる因つツ中多事とりも。で二つこの今て、会は入
 事とたいてへ生とーとしてとやく故な、の報十いた事回頂事で起院
 例し、ういのし見ーしい周ト十のっ職での告三て一故はく故はきや
 もた付結か配て守大てま囲イ二場て員、内を年も場事平よの医てお所
 あ事き果な慮おりが夫ー。ら周、とま真全十ヶ月話ーを二日い事り生
 ならいでれど、行と自べ比囲危しす。に全件のらた紹告三努全検その
 ど転やまば時入き思らッべはなて。に取体はは6い介し年力な討の中
 介倒見し安間院届っ動トれ合いは 組大倒部ま思て事月て内員止転
 護や守た全帯やかてい周ばわとべん半やででいそ故かい生会策倒
 技転り。はや入な歩て困低せさッでを転六のまの事らま活をとや
 術落を 確見所いいしがいてれトい占落十六す対例六すを立し転
 や事し 保守生場てま一割もて周い五ケ。応の月。すちて落
 介故て されのをでた転多と件るが るめに五ケ。応の月。すちて落
 助がい れをのた転多と件るが るめに五ケ。応の月。すちて落
 の起て な工環多 倒い と移一 課て絡 月平策多ま ご上十事

院内研修会の報告
 安全管理(転倒・転落)の現状と
 早期リハビリテーション科 西山弘修

下記のようなことに注意して介助をします



膝を立て腰と肩を持つ



手を引っ張らない



服を引っ張らない



左膝に負担がかかるので膝を持つ



右手巻き込み・体幹のねじれ足のクロス病衣を直す



体を近づけ反動で移さない

一方見方についでも課題が残り、職員がより
 するところを目を磨き、正し、助法を習得
 とらえて目標にして頑張ることが重要
 協力全会ははじめの件数を減らし、科も
 お願いとさせていただきますので今後ともよろし



すいか割り



レクリエーションの紹介

レイクビューさめうらでは、暑い夏らしいレクリエーションをしようと、すいか割りをしました。「我こそは命中してみせる」という方が選手になって目隠しをして、すいか割りに挑戦しました。すいかの真ん中に的中させた方、少しだけかすった方、狙いすぎてはずしてしまった方、様々でした。今年のすいかはなかなか割れなかったようですが、すいか割りの後、みんなで食べたすいかは甘くておいしかったようです。

7月の喫茶



すい様作るたを食をらはい二
 。ののった。たべ行七田ま十七
 が声てめ懐きたい月舎し九月
 嬉はみにかさいそに饅たの二
 し生ま、しんとのか頭。三十
 か地し重いい言中けでお日七
 っのた曹味たわでてすや間、
 た部。ををだれお嗜。つ喫二
 よ分利使再きる饅好六の茶十
 うが用い現ま意頭調月献を八
 で多者 すし見が査か立行、



表彰台へ上られました



まもま使応た名能し
 すあし用援。前力た六
 。りたさしみをに。階
 、。れあん呼応投で
 受日ていなびじげは
 けごいなが、てる一
 取るが一本決回梅
 っの方らソ格め数雨
 た練も行「的、は明
 メ習表いレな競一け
 ダの彰まーゲ技人輪
 ル成台しと！開二投
 を果にた、ム始回げ
 大を歩。掛形時、大
 切出い日け式に距会
 にさてご声では離一
 されのろと行各はを
 れたばはとい選各行
 てから杖もま手人い
 いたれをにしのま

輪投げ

これからの行事予定

八月二十四日(水)
 夏祭り
 九月一六日(金)
 敬老会
 十月一日(土)
 十全会祭り



| | | |
|------|---------|------|
| 和筒泉明 | 和山橋高窪岡今 | 入所者 |
| 田井眞坂 | 田中本橋内崎西 | |
| 温和佐徳 | 園奈津晴サ | |
| 恵子美明 | 子子文子子子勉 | |
| 八十七歳 | 八十八歳 | 八十八歳 |
| 八十四歳 | 八十二歳 | 九十一歳 |
| 八十四歳 | 九十一歳 | 九十八歳 |
| 八十四歳 | 九十八歳 | 九十八歳 |

お誕生日おめでとうございます
 八月生まれのご利用者
 敬称略